



IISEE Newsletter



2020年11月2日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第186号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 地震工学通年研修 2020-2021 開講
- 2020-21 新しい研修生の紹介
- 藤井主任研究員による論文が2020年8月31日付けで Geophysical Journal International に掲載
- 中南米地震工学コース (2018) 帰国研修員によるオンラインセミナー
- 研修修了生の博士号取得

地震工学通年研修 2020-2021 開講

国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

新型コロナウイルスの世界的感染という厳しい状況の中、若い研究者や技術者を対象とした地震工学通年研修の開講式がリモートで開催(10月2日(水))され、約1年間の研修がスタートしました。

今回は、12ヶ国21名の応募者の中から選ばれた、10ヶ国から15名が、地震学、地震工学、津波防災の3つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義を受講しています。

研修生一人一人にとって、充実した研修になるとともに、日本を楽しんで過ごすことができるよう願っています。

この研修を支えてくださる関係者の皆様におかれましては、引き続き、よろしくお願い致します。



JICA 筑波センター渡邊健所長



建築研究所緑川光正理事長



政策研究大学院大学
防災政策(DMP)プログラムディレクター
菅原 賢教授



研修生代表挨拶 マレーシアの
アシャラルさん(地震工学コース)

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース



地震データベース







2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

2020-21 新しい研修生の紹介

| No. | 顔写真 | 国名 | 氏名(カナ下線部分は呼び名) | 所属先/ 役職 |
|------------------------|---|---------|------------------------------|--|
| 地震学(s)グループ (6名) | | | | |
| 1 |  | ブータン | ネパール <u>ニティアム</u> | 経済庁 地質鉱山部 地質学者 |
| 2 |  | エルサルバドル | オリバル <u>アマヤ モニカ</u> ベアトリス | エルサルバドル大学 工学・建築学部 技術補佐員 |
| 3 |  | インドネシア | <u>ロシド</u> アブドゥル | 気象気候地球物理庁 地震・津波センター 地震学者 |
| 4 |  | フィリピン | オースター <u>ジョエル</u> | フィリピン火山・地震研究所地震・津波ネットワーク部地震観測・予知課 研究助手 |
| 5 |  | 東ティモール | ダシルヴァ <u>アルメイダ ジョバニオ</u> ペドロ | 地質学研究機構 地質災害部 職員 |
| 6 |  | トンガ | ベニソニ <u>マフォア</u> ラトゥ | 土地・天然資源庁 天然資源部 地質学補佐 |












論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい

| 耐震工学(E)グループ (6名) | | | |
|------------------|---|---------|--|
| 1 |  | バングラデシュ | ディ <u>ビダン</u> チャンドラ 公共事業局 クルナ地方 上級技師 |
| 2 |  | バングラデシュ | ワラー モハメド <u>イブヌル</u> 住宅ビル開発研究所 構造工学・建築部 研究技師 |
| 3 |  | ブータン | <u>バッタライ</u> ヤダヴ ラル 労働・居住省 工学業務部 副上級技師 |
| 4 |  | エルサルバドル | ドゥラン サラビア <u>スーザン</u> イバニア サンサルバドル市評議会・企画事務所建設・都市開発部 技術者 |
| 5 |  | マレーシア | サドン モハメド <u>アシャラル</u> ビン 公共事業局 構造復旧・保存部 土木・構造工学支部 土木技師 |
| 6 |  | マレーシア | サイブ シュハイダ <u>ビンティ</u> (アイーダ) 公共事業局 構造部 土木・構造支部 土木技師 |

| 津波防災(T)グループ (4名) | | | |
|------------------|---|--------|---|
| 1 |  | チリ | プリド イバラギレ <u>ジェローニモ</u> チリ港湾・海岸機構 海岸工学部 協力員 |
| 2 |  | インドネシア | シンキ <u>キアン</u> プルマ 気象気候地球物理庁 地震・津波センター 地震学者 |
| 3 |  | ソロモン | タタプ <u>カルロス</u> 鉱山・エネルギー・農業電化庁 地質調査部 情報職員 |

藤井主任研究員による論文が 2020 年 8 月 31 日付けで Geophysical Journal International に掲載

国際地震工学センター 主任研究員 藤井雄士郎

藤井主任研究員は、Geophysical Journal International に、2005 年にインドネシアのニアス島付近で発生した地震 (Mw 8.6) のすべり分布を求めた研究の成果を発表しました。最近の研究により、計算津波波形の位相を補正することで、遠地で観測された津波記録も波形解析に使用できるようになりました。本論文では、震源付近の測地データと遠地を含めた津波波形記録の同時インバージョン解析により求めた断層面上のすべり分布について議論しています。ご興味のある方はご連絡下さい。

藤井雄士郎 (fujii@kenken.go.jp)

Fujii Y., Satake K., Watada S., Ho T.C., 2020. Slip distribution of the 2005 Nias earthquake (Mw 8.6) inferred from geodetic and far-field tsunami data, *Geophysical Journal International*, 223, 2, 1162–1171, <https://doi.org/10.1093/gji/ggaa384>

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

中南米地震工学コース(2018)帰国研修員によるオンラインセミナー

国際地震工学センター シニアフェロー 横井 俊明

昨年度「中南米地震工学」コースを修了し、エルサルバドルに帰国したフランシスコ・ゴメスさんが、コロンビアのロス・アンデス大学日本センター主催のオンラインセミナー「技術開発」で日本の地震・津波防災について、10月22日朝(日本時間)講演しました。今後の益々の活躍を期待しています。



オンライン講演で、日本の事例を説明する
フランシスコ・ゴメスさん



プレゼンテーション表紙

研修修了生の博士号取得

ネパール政府鉱山地質局 副局長 Sudhir Rajaure 博士

皆様に、私がネパールの地震ハザード分析に関して、首都カトマンズに在るトリブーバン大学から、2020年9月27日に博士号を授与されたことをお知らせします。博士論文のタイトルは、「ネパールの地震ハザード分析」。この研究では、私は主にネパールの全国的な工学的基盤上での地震ハザードマップを500、1000、2500年、5000年、および10000年の再来周期に対して作成しました。

私は、1998-1999コース(地震学コース)、及び2008セミナーコースの卒業生です。地震と地震災害の重要性を教えてくれたJICA、BRI、IISEEに心から感謝します。現在の役職は、ネパール政府鉱山地質局の「副局長」で、現在鉱山地質局の石油探査推進プロジェクトを率いています。



Sudhir Rajaure博士